PRESS RELEASE 2022.5.2



甲冑の解剖術一意匠とエンジニアリングの美学

2022年5月3日(火·祝)~7月10日(日)

展覧会名	甲冑の解剖術一意匠とエンジニアリングの美学
会期	2022年5月3日(火·祝)~7月10日(日)
休場日	毎週月曜日
開場時間	10:00~18:00(金·土曜日は20:00まで) ※観覧券販売は閉場の30分前まで
会場	金沢21世紀美術館 展示室6、14
料金	一般 750円(600円) / 大学生 520円(410円) 小中高生 260円(200円) / 65歳以上の方 600円 ※()内は団体料金(20名以上)及びウェブチケット料金
日時指定ウェブチケッ	ト購入開始日 2022年4月1日(金)10:00~
日時指定ウェブチケッ	ト購入方法 当館ウェブサイト (https://www.kanazawa21.jp)よりご購入いただけます。
主催	金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
特別協力	井伊美術館、石川県立歴史博物館、大阪城天守閣、東方文化支援財団
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL: 076-220-2800

令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト



本資料に関する お問合せ 金沢21世紀美術館 担当学芸員:相澤邦彦、髙木遊

広報担当:齊藤千絵·石川聡子·落合博晃

〒920-8509 金沢市広坂1-2-1

TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802

https://www.kanazawa21.jp E-mail: press@kanazawa21.jp



PRESS RELEASE

21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

展覧会概要

パンデミック、災害、戦争一私たちは今どこにいて、どこに向かっているのでしょうか。現在 を見極めるために過去や歴史を見直し、そこから学ぶことが今、必要とされているのではないでしょうか。

海外でも高く評価される戦国時代の甲冑は、戦の防具であると同時に、武将の力と誉を象徴するものでもありました。大陸から伝えられた甲冑は、武士階級が台頭した平安時代末期頃から大鎧や胴丸によって構成される形に変化し、日本において独自の美学的発展を遂げました。特に鎌倉時代以降は、意匠面において美術工芸の技を尽くして作られるようになります。金工や漆、染色、組ひもなど、その文様や色彩の美しさと独自性は、日本の工芸、服飾文化の一つの極みとなりました。一方、機能面においては、武器や戦闘法の変化に伴い、精巧な解剖学的エンジニアリングとともに進化しました。

本展は、加賀藩前田家の歴史をもつ金沢にて、甲冑という文化資産をキュレーションの技でアップデートし、現代につなげることを目的としています。石川県立歴史博物館をはじめとする全国の所蔵館から選び抜いた珠玉の甲冑を、デジタル時代の美学をけん引する若手クリエイターたちが、デジタル解析映像とともに360度で鑑賞できるよう展示します。また、現代の甲冑ともいえるスニーカーの装飾性や機能性に着目し、スニーカーを素材とした現代版の甲冑や3Dプリントによるスニーカーを対比して展示することで、歴史と現代美術の対話を実現します。特別な什器デザインや照明、音響による透明感のあるハイパーな展示空間によみがえる甲冑は、男性的(マッチョ)な力の象徴だけでない、生き抜く知恵と身を飾ることの誇りと喜びを現代の私たちに教えてくれるでしょう。

本展は、現代のクリエイターたちの手により甲冑の存在とパフォーマンス性を更新し、現在という場所に新たに出現させる試みです。来館者は、歴史と現代のコラボレーションが生み出す驚きに満ちた出来事に出会うことでしょう。

企画 金沢 21 世紀美術館 館長 長谷川祐子

展覧会の特徴

歴史のまち・金沢にて、デジタル時代をけん引する若手クリエイターが 文化資産「甲冑」の魅力を現代的な視点で発信

本展は、加賀藩前田家の歴史をもつ金沢において、甲冑という文化資産をキュレーションの技でアップデートし、現代につなげることを目的としています。甲冑の内部構造をスキャニング解析し、「内的な美」をデジタル映像で見せるライゾマティクスや、甲冑の細部にわたる精巧な美と技を360度で鑑賞できる空間をデザインするナイル・ケティングら、ポストインターネット世代を代表する若手クリエイターたちとの協働により、文化資産「甲冑」の魅力を余すところなく現代にアップデートして発信します。

現代の甲冑・スニーカーとの競演による、歴史と現代美術の対話の実現

本展は、常にデザインや機能が更新されていく「現代の甲冑」ともいえるスニーカーに着目し、歴史的な甲冑との比較展示を通じて、現代に通じる甲冑の美学をひも解きます。スタイリスト三田真一によるスニーカーを素材に作られた近未来的な甲冑シリーズや、初コラボレーションとなるHATRA × MAGARIMONOが甲冑の文様や意匠に感化されて本展のためにデザインした3Dプリント製スニーカーなど、現代の甲冑と歴史的な甲冑との競演により、時空を超えた歴史と現代美術の対話を実現します。

石川県立歴史博物館をはじめとする歴史博物館や美術館との 初の大型コラボレーション

本展は、石川県立歴史博物館や井伊美術館、大阪城天守閣などの全国の歴史博物館や美術館との初の大型コラボレーションにより、安土桃山から江戸にかけてつくられた、意匠やスタイルの実に多様な珠玉の甲冑を展示します。現代アーティストが特別にデザインした什器や照明、音響の総体が五感を刺激する展示空間にて、これらえりすぐりの甲冑の造形美を、細部にわたり360度で鑑賞することができます。

主な展示作品

金本伊予札日輪紋 丸胴具足

井伊美術館蔵

金本伊予札日輪紋 紅糸威仁王胴具足

室町-桃山時代 石川県立歴史博物館蔵

紅糸釘抜紋柄威 二枚胴具足

桃山時代 大阪城天守閣蔵



並や伊ブ化ロ無収れ胴具は 井伊美術館蔵



紅糸威仁王胴具足 室町-桃山時代 石川県立歴史博物館蔵



紅糸釘抜紋柄威二枚胴具足 桃山時代 大阪城天守閣蔵

HATRA × MAGARIMONO AURA

HATRA×MAGARIMONOが 初 の コ ラ ボ レーション。甲冑の紋様や細部の意匠にイ ンスパイアされてデザインされた $3\,D$ プリントによるスニーカーを展示します。



HATRA × MAGARIMONO AURA 2022年 ©MAGARIMONO Inc.

三田真一|MITER Shinichi 連続の断片

(スニーカーのパーツにて製作した甲冑シリーズ)

スタイリストの三田真一による、スニーカーを組み上げて 作られた未来的な甲冑シリーズです。本作品について、 作家は「足を守るスニーカーを使って身体を守る甲冑をつ くり、同じ型のスニーカーを何足も繋ぎ合わせた連続性 がもたらす美しさを追求した」と述べています。



三田真一 MITER Shinichi 連続の断片 (スニーカーのパーツにて製作した甲冑シリーズ) 2008年

データ ビジュアライゼーション・ デザイン

ライゾマティクス | Rhizomatiks



Scanned image for Kacchu ©Rhizomatiks



Exhibition view: "GLOBALE: New Sensorium - Exiting from Failures of Modernization" Curated by Yuko Hasegawa Courtesy of ZKM | Karlsruhe Photo by Tobias Wootton and Jonas Zilius

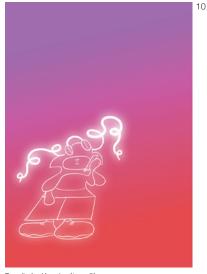
データビジュアライゼーションとは、ビッグデータの活用法の一つで、膨大で複雑なデータを視覚的に表現する技術のことをいいます。本技術により、それまで見えてこなかった関係性や特徴、傾向をデータから直感的に理解できるようになります。本展では、技術と表現の新しい可能性を探求し、研究開発要素の強い実験的なプロジェクトを展開してきたライゾマティクスがこれを担い、CTスキャニングで甲冑から取得したデータを映像作品として、さらに展覧会のデザイン物、ポスターや特設ウェブサイトのキービジュアルとしても展開します。

セノグラフィー

ナイル・ケティング | Nile KOETTING



Atmospheric sketch for Kacchu (type 1)



Doodle for Kacchu (type 3) Drawing by Aisha Franz © Nile Koetting

多くの場合、セノグラフィーは"舞台美術"と邦訳されますが、現代的に翻訳するならば、「感性を呼び起こす空間や状況を生み出すこと」といえます。このセノグラフィーを、サウンド、映像、照明など多種多様なメディアを通じ、インスタレーションを制作するナイル・ケティングが担います。360度から甲冑を見ることのできるケースデザインやスマートかつ温かみのあるライティング、過去と現在を軽やかにつなげてゆく展示空間がデザインされます。

アーティスト プロフィール

三田真一 MITER Shinichi

スタイリストとして1997年より活動を始め1998年渡英、2001年帰国。現在はファッション誌、広告、ライブ、映画、ドラマ衣装の他にサカナクション山口一郎氏が率いるNFではクリエイティブディレクターを務める等、活動は多岐にわたる。作品制作では、2004年カナダ「NOKIMONO展」より水墨画家の土屋秋恒とファッションデザイナースズキタカユキと、アートユニットTENKIとして作品を発表。スニーカー甲冑の作品は2008年大喜喜展(六本木ZEL CAFÉ/GALLERY)、2010年三田真一with TENKI「連続の断片」(代官山 GALLERY SPEAK FOR/SPEAK FOR SPACE)、2017年 NIKE AIR MAX REVOLUTION TOKYO (東京国立博物館 表慶館)にて発表。

HATRA × MAGARIMONO

HATRA

リミナル・ウェアを主題に、2010年よりポータブルで境界的な、空間としての衣服を提案するファッション・プロジェクト。近年では3Dクロスシミュレーションをはじめとするデジタル技術の応用を通して新しい身体表現を試みている。

MAGARIMONO

「異端は未来のスタンダードとなる」を掲げ、デジタル技術を用いて靴づくりのプロセスの変革を試みるフットウェアブランド「MAGARIMONO」を運営。3Dプリントにより大量生産の制約から解放された自由な造形かつ環境負荷の少ないフットウェア「MAGARIMONO originals」を展開中。

ライゾマティクス Rhizomatiks

技術と表現の新しい可能性を探求し、研究開発要素の強い実験的なプロジェクトを中心に、ハード・ソフトの開発からオペレーションまで、プロジェクトにおける全ての工程に責任を持ち、人とテクノロジーの関係について研究しながらR&Dプロジェクトや作品制作を行う。また、外部のアーティストや研究者・科学者などとのコラボレーションワークを通じ、カッティングエッジな表現作品、研究を世の中に発表している。

https://rhizomatiks.com/

ナイル・ケティング Nile KOETTING

サウンド、映像、照明など様々なメディアを通じ、現代的なアンビエンスや空間を生み出す作品で国際的に活躍をするアーティスト。近年の主な展覧会に、「Remain Calm (Air氣)」タイクーンコンテンポラリー、香港(2021)、「タイビエンナーレ」(2021-22)、「Remain Calm」シャルジャ・アート・ファウンデーション、シャルジャ(2020)、「Anticorps」、パレ・ド・トーキョー、パリ(2020)、「保持冷静 | Remain Calm」、センター・ポンピドゥー x ウエストバンド美術館、上海(2019-20)、「曖昧な関係」、銀座メゾンエルメスフォーラム(2017)など。

関連プログラム

トークセッション 三田真一× HATRA× MAGARIMONO

ファッションの視点から、スタイリストの三田真一、HATRA、MAGARIMONOの三者が甲冑や 自身の作品、本展について語り合います。

登壇者:三田真一、長見佳祐(HATRA)、津曲 文登、秋月 佑太 (MAGARIMONO) (予定)

モデレーター: 長谷川祐子館長

日時: 2022年5月3日(火)16:00-18:00

会場: シアター21

定員: 110名程度(要事前申し込み・先着順)(予定)

参加費: 本展展覧会のチケットあるいは半券をお持ちの方

予約: google formにて受付 4月20日開始予定

トークセッション ナイル・ケティング x ライゾマティクス

セノグラフィー、データビジュアライゼーションの役割を担ったナイル・ケティングとライゾマティクスが、本展を作り上げてゆくプロセスやコンセプトを語ります。

日時: 2022年5月8日(日)14:00-16:00

登壇者:ナイル・ケティング、真鍋大度(ライゾマティクス)(予定)

モデレーター: 長谷川祐子館長

会場: シアター21

定員: 110名程度(要事前申し込み・先着順)(予定)

参加費:本展展覧会のチケットあるいは半券をお持ちの方

予約: google formにて受付 4月20日開始予定

PRESS RELEASE

21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

関連グッズ 販売について

会期中、当館ミュージアムショップにて、「甲冑の解剖術一意匠とエンジニアリングの美学」展関連グッズとして、参加アーティストであるナイル・ケティング、ライゾマティクスがそれぞれデザインしたTシャツ(全3種)を販売いたします。

販売場所:会期中、当館ミュージアムショップにて販売

価格:¥4,000 +消費税(一種あたり)

ナイル·ケティング デザインTシャツ(白2種)



ライゾマティクス デザインTシャツ(黒1種)





© Rhizomatiks

カタログ予約・ 販売について

当館ミュージアムショップにて、「甲冑の解剖術一意匠とエンジニアリングの美学」展力タログを 予約・販売いたします。

発売開始予定:2022年6月上旬以降

予約受付: 当館ミュージアムショップ レジカウンターにて受付(電話予約不可)

仕様:A4、全64頁(予定)

定価: ¥2,200(税込) ※送料別 ¥400(税込)(計¥2,600円を予約時先払い) 発行: カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(美術出版社書籍編集部)

※出来上がり次第、ご希望の住所に発送予定

広報用画像

画像 1~10 を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、当館プレスルームの画像提供ページからお申し込みください。

https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったり しないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報課へお送りください。

※アーカイヴのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。